

1 災害時の避難行動～自らの命は自らが守る～

資料 1-2

- 災害時には、自ら積極的に情報収集しながら、市からの避難情報を待たずに、**自らの判断で早めの避難行動をとることが大切です。**
- お年寄りなど、ひとりで避難行動をとることが困難な方に一声かけるなど、**助け合いも大切です。**
- 身体状況、お住いの場所、建物の構造等により、一人ひとりで状況は異なります。あらかじめ、市民防災のしおり、ハザードマップなどを参考にしながら、**自分の状況に適したるべき行動と安全な場所を確認しておきましょう。** **※安全な場所にいる方は、市の避難施設など他の場所へ移動する必要はありません。**
- 非常持ち出し品の準備、防災訓練への参加など、日頃から災害への備えに取り組みましょう。

地震

状況	緊急地震速報の発表～地震の発生	余震に備える	安全確保・避難
とるべき行動	<ul style="list-style-type: none"> 頭を守り、大きな家具から離れ、丈夫なテーブルや机の下などに身を隠す。 火元の近くにいる場合は、火を消す。 ドアや窓を開けておくなど、逃げ道を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> 火の始末をする。火災が発生したら初期消火する。 ガスの元栓を閉める、電気のブレーカーを落とす。 	<p>建物の倒壊の恐れがある場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な知人や親戚宅、指定避難所等へ避難する。 食料、身の回り品など非常持ち出し品を持参する。 移動時、土砂崩れやブロック塀の倒壊等に注意する。 避難が困難な方がいたら、可能な範囲で支援する。  <p>建物の倒壊の恐れがない場合</p> <p>建物内での安全確保を継続する。 =「我が家が避難場所」</p> 

津波

状況	注意報・警報の発表
とるべき行動	<p>津波注意報</p> <ul style="list-style-type: none"> 海の中や海岸付近にいる方は、直ちに高い場所へ避難する。 海浜部や河川に近づかない。  <p>津波警報、大津波警報</p> <ul style="list-style-type: none"> 浸水のおそれのある区域内にいる方は、直ちに高い場所へ避難する。 海浜部や河川に近づかない。 

水害・土砂災害

状況	警戒レベル 2 以下	危険度大				災害発生
		気象注意報・警報等の発表	市が避難情報を発令	警戒レベル 3	警戒レベル 4	警戒レベル 5
とるべき行動	<p>信濃川早期警戒情報の発表（信濃川増水時に市が発出）</p> <ul style="list-style-type: none"> 気象情報の収集など災害への心構えを高め、避難等の準備をする。 市の「信濃川早期警戒情報」が発表された場合、信濃川氾濫時の浸水区域にいる方は、市が浸水区域外に開設する指定緊急避難場所へ避難する。また、避難が困難な方がいたら、可能な範囲で支援する。 (イメージ図は、別紙のとおり) 	<p>高齢者等避難</p> <ul style="list-style-type: none"> 行動に時間のかかるお年寄りの方などは、危険な場所から安全な場所へ避難する。 その他の人は、避難の準備をする。また、避難が困難な方がいたら、可能な範囲で支援する。 	<p>危険な場所から全員が安全な場所へ避難する。</p> 	<p>命の危険が迫っているため、直ちに安全を確保する。</p> 		

安全な場所とは

- ・浸水、土砂崩れ等のおそれがない自宅、知人、親戚宅
- ・浸水深よりも高い建物の上層階
- ・市が開設する指定緊急避難場所 など

2 災害時の情報収集 ~自ら判断するための情報を集める~

- 災害時には、市や各機関が様々な手段で情報を発信します。自ら積極的に情報収集し、早めの避難判断・避難行動につなげることが大切です。
- 危険が迫っている際は、市からの避難情報を待たずに避難してください。

【市の情報発信】

種類	内容
ながおか防災ホームページ https://www.bousai.city.nagaoka.niigata.jp	災害時に必要な情報が全て集約されており、各種防災情報を確認できます。 ＜掲載内容＞ <ul style="list-style-type: none">・緊急情報・各種ハザードマップ（洪水、土砂災害、津波）・河川ライブカメラ・河川水位情報・緊急避難場所・避難所など
SNS (市公式LINE・Facebook、Twitter)	要登録 防災情報がスマートフォン等に配信されます。
VACAN MAPS (バカン マップス)	避難施設の位置や開設・混雑状況が確認できます。
緊急速報メール エリアメール	対応している携帯電話等に対し、避難情報が配信されます。
緊急告知FMラジオ (要支援者への貸与、高齢者への購入補助有)	専用ラジオをお持ちの場合、災害時に自動起動し、防災情報を放送されます。
長岡市防災気象情報メール	要登録 気象情報、水位情報などが配信されます。
ながおかDメールプラス	要登録 土砂災害や避難情報などの防災情報に加え、防犯・クマ・光化学スモッグなどの緊急情報が配信されます。
電話配信サービス	一部要登録 自主防災会長、要配慮者利用施設、民生委員、高齢者等に対し、防災情報が自動音声で配信されます。
防災アプリ (NCTコネクト・Yahoo!防災速報)	要インストール 防災情報が確認できます。また、防災情報が配信されます。
広報車	防災情報が放送されます。
屋外拡声器 (一部地区のみ)	防災情報が放送されます。
テレビ、ラジオ	防災情報が放送されます。テレビのデータ放送では、水位情報などが確認できます。

* 要登録 の登録方法等は、「ながおか防災ホームページ」をご覧ください。

河川の水位を確認したい場合は、ながおか防災ホームページからアクセスできる水位情報やカメラ映像、NHKのデータ放送などによりご確認ください。
増水している河川の堤防など、危険な場所には絶対に近寄らないでください。



3 備蓄品・非常持ち出し品の準備 ~必要な品は自ら準備~

- 避難時に必要となる物は各自で備蓄するようできる限り努め、避難先に持参しましょう。
- 災害時に必要となる物は、個人の状況によって異なります。市民防災のしおり、ハザードマップなどを参考にしながら、自分に何が必要かしっかりと考えましょう。
- 各家庭において、平時から家族の3日分（可能であれば1週間分）の飲料水、食料、生活必需品を備蓄しましょう。



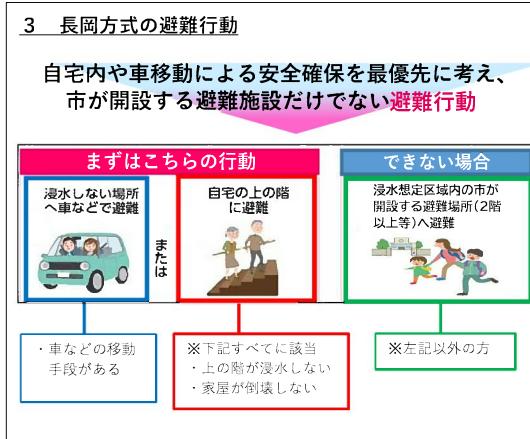
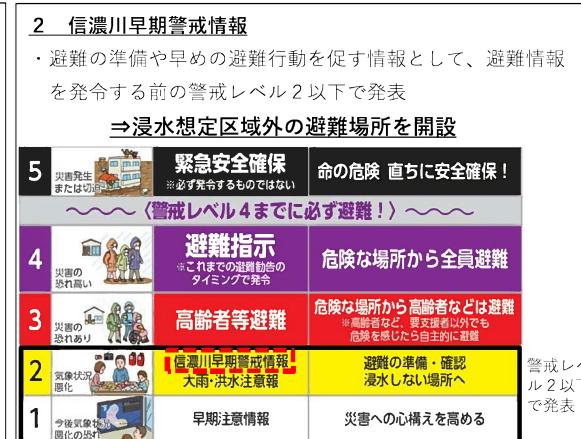
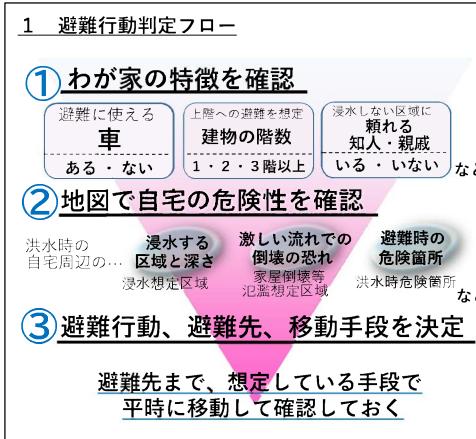
4 市の問い合わせ窓口

- 災害時、お困りのことや確認したいことがありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。
- 電話がつながりにくい状況も想定されますので、電話をかける前に「ながおか防災ホームページ」で最新情報を確認されることをおすすめします。

【市の問い合わせ窓口】

内容	連絡先	電話番号
連絡（相談）先がわからないとき	危機管理防災本部	39-2262
道路について	道路管理課	39-2232
河川、土砂災害について	河川港湾課	39-2233
農地、農林業施設について	農林整備課	39-2224
水道について	水道局	34-1412
至急救助が必要なとき	消防署	119
避難行動要支援者の支援について (特別な支援が必要で、地域での対応が難しいとき)	障害者 介護保険事業の利用者 利用者以外 その他	福祉課 39-2218 介護保険課 39-2245 長寿はつらつ課 39-2268 福祉総務課 39-2217
子育てあんしんの避難所について	子ども・子育て課	39-2300
水害時における消毒薬剤の配布について	保健医療課	39-2383
災害ごみについて	環境業務課	24-2837

長岡方式の避難行動（信濃川）のイメージ



4 避難者数シミュレーション

- 避難対象者は19.9万人。
- 市が開設する避難場所の収容人数は9.8万人。
- 長岡方式の避難行動の実現により、避難場所への避難しか選択できない方のスペースが確保できる。

避難先	人数(万人)
1 車等で漫水しない場所	4.8
2 自宅等の上の階	5.3
3 市が開設する避難場所	9.8

